



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「**う**つくくまわりを **え**がおであいさつを **き**ちんとくつならべ」

令和元年度第9号
熊本市立植木小学校
令和元年12月23日
文責:校長 坂木和也

12月25日(水)から冬休み

長かった2学期ももうすぐ
終わり、25日(水)からは冬休み
に入ります。子どもたちは、ク

リスマスやお正月が楽しみで仕方ないといった様子です。サンタさんにどんなプレゼントのお願いをしている
のでしょうか?願いが叶うといいですね。

さて、冬休みは1月6日(月)までの13日間です。年末年始のいろいろな行事を子どもたちにも体験させ、
日本の伝統に触れさせてください。始業式の日は、1月7日(火)で、その日から給食も始まります。家族団
らんの話を子どもたちが聞かせてくれるのを楽しみにしています。

授業参観・講演会

12月6日(金)に授業参観・懇談会・PTA講演会が行
われました。たくさんの保護者の方に授業を見ていた
だき、子どもたちも意欲的でした。残念ながら、2年1



ネットいじめ

組は、インフルエンザの流行で午後から下校することになり、授業参観はできませんで
した。3学期の授業参観を楽しみにしておいてください。教育講演会では、モバイル・ネ
ットワーク研究所代表の松川由美様をお招きして、演題「親が知らないSNSいじめの実
態・朝も起きられないゲーム依存、スマホ依存の怖さと対処法等」を聞かせてもらいま
した。便利な反面、重大な被害ももたらす情報機器です。

大人が子どもに丸投げでは、子どもを危険から守ること
ができません。大人も使い方を考え、子どもにも約束事を
決めさせ、上手に使えるようにしないと取り返しのつかない事態になるかもしれま
せん。今後、学習の機会があれば是非参加をお願いします。



プログラミングの学習

なかよし1組で、12月18日(水)に「オリジ
ナルゲーム発表会」が開催されました。令和2年
度から取り組まれる「プログラミング学習」を意



識して、角先生が試行として取り組んだものです。先週、なかよし1組と4組の

子どもを対象として、タブレットを使ったプログラ
ミングの学習を行い、ビスケットというソフトを使
って簡単な動きを入力する体験をしました。キャラ
クターを作って左右上下に動かすコントローラーを
作成し、敵を倒すための武器も作りました。さなが
ら、昔あったインベーダーゲームやギャラクシーと
いった感じです。子どもたちは、いろいろとアイデアが浮かび、シールドを作っ
たり、ビームを発射させたりできるようにしていました。自分の思い描くものが
形となって現れ、それが動くのですから夢中になるのも分かります。発表会に
は、3組の子どもたちを招待し、各自が創意工夫して作った作品のお披露目をし
ました。会の進行も子どもたちで行い、楽しいひと時を過ごすことができましたよ
うです。とにかく、子どもたちは理解が早く、すぐに自分の作品に修正を加えたり、動きを追加したりしていま
した。子どもたちの中には、「将来、プログラマーになりたい。」という思いをもった子もいたようです。



うです。とにかく、子どもたちは理解が早く、すぐに自分の作品に修正を加えたり、動きを追加したりしていま
した。子どもたちの中には、「将来、プログラマーになりたい。」という思いをもった子もいたようです。

世界女子ハンドボール大会観戦

12月5日(木)に、パークドームで開催された世界女子ハンドボール大会(中国対コンゴ)

を4年生児童が観戦にいきました。事前に応援の旗を作り、歌も覚えていきました。時間の関係で前半戦だけの観戦でしたが、世界最高レベルのプレーに子どもたちも感動していたようです。なかなかこのような機会は巡ってきませんので、よい経験になりました



みんなで遊ぼう大会



鬼ごっこの様子

12月12日(木)体育委員会が企画した「みんなで遊ぼう大会」ですが、今回は、鬼ごっこでした。さすがに全員で運動場を走り回るのはぶつかる危険性があるので、低学年、高学年の半分ずつで行いました。

鬼になるのは、先生たち。子どもたちは捕まったら檻(白線で囲まれた場所)に入ることになっていました。笛の合図で一斉に追いかける先生。しかし、子どもたちの動きが俊敏なので、なかなか捕まりません。でも、チームプレーで囲い込んだりして徐々に追い込んでいきました。途中から体育委員も鬼に加わり、みんなを追いかけましたが、全員捕まえるのは無理でした。とても楽しいひと時を子どもたちと過ごしました。



説明をする体育委員

し、子どもたちの動きが俊敏なので、なかなか捕まりません。でも、チームプレーで囲い込んだりして徐々に追い込んでいきました。途中から体育委員も鬼に加わり、みんなを追いかけましたが、全員捕まえるのは無理でした。とても楽しいひと時を子どもたちと過ごしました。

鉄棒・縄跳び・持久走の練習に励んでいます



体育で鉄棒の授業があると、休み時間に練習する子どもが続出します。できる子にコツを教えても

らいながら、また、補助器具を使いながら何度も挑戦しています。数日たつと、「できた。」と喜びの声を上げる子どもを見かけます。できなかったことができるようになる喜びは最高ですね。早速、先生に観てもらい、「頑張った



逆上がり補助板



縄跳び練習板



持久走の練習

ね。」とほめてもらっていました。鉄棒だけではありません。縄跳びの練習にも熱心です。練習板を学校主事の中山先生に作ってもらいましたので休み時間は、その取り合いです。板の反発を利用して、二段跳びやあや跳びの練習をしています。元気いっぱいの植木小の子どもたちです。



折り返す様子

また、持久走の練習もしています。5年生の体育の授業では、運動場にカラーコーンを2本1組で設置し、その距離を50mから5m間隔で伸ばし、最長90mのコースが設定してありました。ひとりひとりに応じた距離の設定がしてあり、自分で目標を立て、取り組むことができます。1分間で1往復できるペースで走ります。これを10分間行います。同じペースで走るという課題です。走るのが苦手な子も得意な子も同じ時間設定の中で走ります。よく考えた場面設定だなどと思います。子どもたちもやる気をもって、持久走に取り組んでいます。冬休み中にも、運動に親しんで欲しいと思います。とにかく外で遊びましょう。